

健康へのメッセージ

総合診療医とは

最近、国（厚労省）や医師会の間で総合診療医に関する検討が盛んとなっています。総合診療医とは何者か？従来の概念で考えると初期の診療に当たる医師に関する事のことです。今までの「かかりつけ医」などの差はあるのでしょうか？

現時点では「家庭医」「総合医」「総合診療医」「かかりつけ医」など未だに最終的な名称は決まっていません。

日本医師会では「最新の医療情報を熟知して、必要な時には専門医を紹介できる、地域医療、保健、福祉を担う総合的な能力を有する医師」を目指して総合医・総合診療医認定制度を作り、生涯教育制度の充実をはかろうとしています。

日本医師会とプライマリ・ケア、家庭医療、総合診療医の3学会が合同で作業部会を



東陽病院院長
伊藤 文憲

作り、本年3月にカリキュラム案ができました。

内容は診療能力として53の症状について対処方法を熟知することです。たとえば腹痛に対しての問診や診察及びX線・尿・血液検査などにより胃潰瘍や腹膜炎などの鑑別ができること、消化管出血や急性虫垂炎、急性膵炎など専門医に紹介すべき病気を判断できること等です。総合診療医は健康問題や病気の8割に対応が可能で、その上で総合診療医と専門医との間の緊密な連携が必要となります。

研修期間としては2年の卒業研修を終了した医師は3年以上の実務経験、臨床経験7〜15年以上の医師は20〜50時間の講義と実技演習が必要とされます。更に、医師会と3学会などで作る認定機構が、受講結果を踏まえて評価を行い、「総合診療医」と認定し、その認定の更新も、5年または10年おきに20時間の講義・講習が義務づけられます。認定の更新については、前回にお知らせした産業界制度と同じ方式です。

現在その認定制度については国（厚労省）や医師会等にて検討中ですが、従来の開業医に対して勧めている「かかりつけ医」制との関係、診療内容についての定額払い制度や受診規制などの総枠規制に結びつくことに対する危惧について議論が行われています。

最近医科大学の付属病院や大きな総合病院の中には、紹介状を持たない初診の患者さんに対して、最初は総合診療科（部）を受診する方式がとられています。千葉大学医学部付属病院でも総合診療部が初期の外来診療を行っています。

同部長の生坂教授は、総合診療を「診断のついていない症候や健康問題を有する患者に対して、生物・心理・社会的な問題すべてを原因臓器に限定されない包括的な切り口での診療」と定義しており、ほとんどの外来疾患は病歴で診断できるという立場から、特に医療面接に重点を置いた診療を行っています。

◆救急当番日
10月19日（日）
午前8時30分〜
午後5時15分

◆問い合わせ
東陽病院 ☎ 13335
URL: www1.ocn.ne.jp/~toyohp/

東陽病院職員募集

募集職種及び人数
看護師 1名

応募資格

平成21年3月に国家資格取得見込みの方、またはすでに国家資格を有している方

受付期間

10月1日（水）〜12月1日（月）

採用審査

書類審査後、適正と認められた方に面接試験の受験案内を通知します。

◆申込・問い合わせ

東陽病院事務部総務班
☎ 13335

手作り料理を食卓に！

☆さんまとしめじの生姜煮☆

材料：（6人分）

- さんま ……360g（3尾）
 - しめじ ……90g
 - 春菊 ……120g
 - しょうが ……少々
 - だし汁 ……450cc
 - 砂糖 ……小さじ4
 - しょうゆ ……大さじ2
- 1人分 206kcal



①さんまは5cmの筒切りにし、腹わたを出して水洗いし水気をきる。しめじは小房に分ける。しょうがは薄切りにする。

②鍋にだし汁、しょうがの薄切り、砂糖、しょうゆを入れ、ひと煮立ちさせ、さんま、しめじを入れて10分煮る。

③春菊は茹でて水にとり、食べやすい長さに切る。

④②に春菊を加えてさっと味をからめる。

町食生活改善協議会